

	課題分析	授業改善策
国語	<p><b>【文章読解】</b> ○文章を読み取る力に個人差がある。高校入試などに向けて、時間内に素早く読み取る能力が必要であるが、今のところ必要な時間に大きな差がある。</p> <p><b>【表現力】</b> ○自分の考えを表現することに意欲的な生徒が多いが、表現方法や内容についての選択が適切でない場合もあり、訓練が必要である。</p>	<p><b>【文章読解力の向上】</b> ○説明的文章に関しては、文章の構成をつかんでから、必要な箇所を精読できるよう指導する。文学的文章は読み取るポイントを繰り返し指導し、読解に必要なパターンを身に付けさせる。</p> <p><b>【表現力の向上】</b> ○文章の型を与え、それに沿って発言したり書いたりする機会を増やしていく。また、友達の意見を聞き、記録し、それを自分の表現に行かしていく訓練をする。</p>
社会	<p><b>【知識・技能】</b> ○決まったことを実践する力はある。必要な知識を活用する力が求められる。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○物事を覚えることは不得意ではないが、資料を見て考える力が伸びてきているがまだ十分ではない。また、多面的・多角的な視点で歴史的事象を捉えようとしている生徒が増えているが、わからないと思考が止まってしまう生徒もまだ多い。</p> <p><b>【学びに向かう力】</b> ○授業の振り返りを工夫しながら行い自分の考えをもつ生徒が増えているが、一方で自分の考えを文章にしたり、発表したりすることに自信のない生徒もみられる。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> ○教科書・資料集などを多く活用して、資料を読み取る力を伸ばす工夫を行う。</p> <p>○重要語句については、e ライブラリーなどを活用し、反復させるようにする。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b> ○自分の考えをまとめる場面を多くつくる。</p> <p>○簡単な課題から難しい課題まで様々なパターンで提示できるようにする。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○役割を割り振り、課題について班で話し合い、他人の意見を聞きながら、最終的に自分の意見をまとめる活動を取り入れる。</p> <p>○授業の中で、時事に関する問題を取り上げることによって、社会事象に関心をもたせ、その問題に主体的に考える力を付けさせる。</p> <p>○授業で得た知識を基に、考察し、まとめるような活動を、タブレットPCなどを活用し行うことで、自分で進んで取り組めるようにする。</p>

<p>数学</p>	<p><b>【数量】</b>  ○文字式の計算や方程式を解くなどの知識・技能は定着しているが、文章を正確に読み取った上で数量の関係を見出す力や、事象を数学的に分析、説明する力が乏しい。  ○既習内容に基づいて理解を深めたり、操作を効率化したりするのを苦手とする生徒が多い。</p> <p><b>【図形】</b>  2年では習熟度別少人数授業の中での取り組みであった。知識・技能を主に合同の仕組みについて取り組んだ。その結果として、穴埋め問題については理解できているが、複合的な内容の問題を解くことには弱い。さらにデータの活用については質問の意味が十分に理解できていないことが鮮明に表れている。今後は文章力も含めた問題を考えていく必要がある。</p>	<p><b>【数量】</b>  ○文章題を授業説明で取り入れ、関係式を立式するような発問を増やす。ペアワーク等で傾向の分析や考え方の説明に取り組みさせる。振り返りを通して、気付いたことを言語化する習慣を付ける。  ○関連する既習内容の復習を冒頭に取り入れ、今までの考え方を利用できないか考えさせる。</p> <p><b>【図形】</b>  3年では、できるだけ複合的な問題を増やし、自分の言葉や解き方ができるような取り組みを心がけてきている。さらに、いろいろな解き方があることや、見方を変えることによって糸口が見えてくるような姿勢をもつように取り組んでいる。また、その場で考えていくような問題も取り入れながら応用範囲を拡げていく。</p>
<p>理科</p>	<p><b>【科学的思考】</b>  ○既存の知識を活用して科学的に考える力が身に付いていない。習っていないことや教えられていないことに関しては、自分の力で考えようとする意欲が見られない。</p> <p><b>【理解】</b>  ○答えを暗記して解く問題はできるのだが、応用的な課題に弱い。</p> <p><b>【基礎的事項】</b>  ○正確な知識の定着が不足している生徒がいる。</p> <p><b>【文章表現能力】</b>  ○説明不足な文や、観点が外れている内容の文を書く生徒が多い。</p>	<p><b>【科学的思考】</b>  ○生徒が疑問に思うことなどを挙げさせ、考えさせ話し合わせる時間をつくる。  疑問やわからなかったことなどを解決する喜びをもたせる授業を展開したい。</p> <p><b>【理解】</b>  ○授業後、課題を与えじっくり考えて解く機会を多く与えたい。</p> <p><b>【基礎的事項】</b>  ○授業前に簡単に解ける小テストを行い、知識の定着を促す。</p> <p><b>【文章表現能力】</b>  ○正しい文章表現の指導を随時行う。</p>
<p>音楽</p>	<p><b>【興味・関心】</b>  ○生徒の興味・関心を高める工夫が必要である。</p> <p><b>【創意工夫】</b>  ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を身に付けさせる必要がある。</p> <p><b>【達成感】</b>  ○自己評価を学校行事との関連を図りながら行い、達成感・充実感をもたせる。</p>	<p><b>【主体的な活動】</b>  ○多様な音楽の豊かさや美しさを感じ取り、音楽的視野を広げる。  ○音楽に対する理解を深めるために、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</p> <p><b>【自己評価】</b>  ○自己評価を行い、授業への取組を把握する。</p>

美術	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>○意欲的な制作態度の持続を図る。</p> <p>○1、2年で習得したことを生かし、高い意欲を無駄にすることなく義務教育最後の美術の時間を有効に過ごさせる。</p> <p><b>【発想や構想力】</b></p> <p>○柔軟な発想力の向上を図る。</p> <p><b>【鑑賞力】</b></p> <p>○美術作品鑑賞への興味を高める。</p>	<p><b>【制作意欲の向上】</b></p> <p>○芸術活動は様々な分野と関係していることを知らせ、より広く深く学び興味を高めさせ、制作できる教材を作る。</p> <p><b>【発想、構想力の向上】</b></p> <p>○短時間イメージトレーニング課題を定期的に行い発想力を高める。</p> <p><b>【鑑賞力を高める】</b></p> <p>○鑑賞カードを使い、芸術作品をより多く見る機会を設ける。</p>
保健体育	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>○運動や身体の特徴を理解し、合理的に体を動かす方法を定着しない生徒がいる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○学習した内容を各運動に関連付けて身体で表現し運動させることが出来ない生徒がいる。</p> <p><b>【学びに向かう力】</b></p> <p>○始業前から準備運動や用具準備など授業に向かう姿勢などは出来ているが、自己の体力向上や競技力向上に向けての取り組み意識が低い生徒がいる。</p>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <p>○授業のねらいを明確にし、ICT機器を取り入れ、映像での振り返りなどを有効に活用し理解させる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○各単元で課題解決の場面を多く設定し、仲間と話し合いながら運動の習得や探求の機会をつくる。</p> <p><b>【学びに向かう力】</b></p> <p>○更に出来ることが増やせるよう主体的に行動し、意欲的に活動出来るよう授業展開を工夫する。</p>

技術・家庭	<p>《技術分野》</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>○技術に必要な知識・技能の習得を、実習を通して学ぶ必要がある。見方・考え方を養い、トレードオフの視点をもたせる必要がある。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。目まぐるしい時代の変化に対応するため、その知識を基に、問題解決学習の実践、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p><b>【興味・関心】</b></p> <p>○各分野において、他教科との関連性をもたせ、生産・消費の視点や職業などのキャリア教育という観点から、関心意欲を高める必要がある。</p> <p>《家庭分野》</p> <p><b>【授業に対する意欲】</b></p> <p>○学習意欲は高く、授業における聞く姿勢は大変良いが、発問に対する挙手・発言が少ない。よって、生徒の関心・意欲を高め、授業に積極的な姿勢で臨めるような工夫が必要である。</p> <p><b>【乳幼児に対する関心と関わり方の技能】</b></p> <p>○身近な兄弟・親戚に乳幼児期の子どもがいないために乳幼児とのかかわりのない生徒が多く、乳幼児への関心や関わり方の知識・技能に課題がある。</p>	<p>《技術分野》</p> <p><b>【目標の把握】</b></p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示し、授業のねらい・目標を理解させる。</p> <p><b>【教材選択】</b></p> <p>○生徒の技術的な興味・関心を理解した上で教材を精選する。</p> <p>○製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせることのできる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p><b>【学習の定着】</b></p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p> <p>《家庭分野》</p> <p><b>【主体的な学びに繋げるための工夫】</b></p> <p>○意見交換がしやすい生徒同士でのグループ活動を取り入れたり、視聴覚教材やタブレット端末を活用したりして学習意欲を高める。</p> <p><b>【乳幼児への関心と関わり方の技能の向上】</b></p> <p>○オリジナルのワークプリントやスライド資料を作成して、乳幼児の特徴を具体的に理解しやすいようにする。</p> <p>○自分自身の幼少期を振り返ったり、将来の自分の子どもとの関わり方について考えたり、授業による自分の考えや行動の変化を振り返るような学習活動を充実させる。</p>
外国語(英語)	<p><b>【知識・理解】</b></p> <p>○新しく習う文法の他に、既習事項の確認が必要である。2年生の文法を中心に復習して定着と復習を図る。</p> <p><b>【表現】</b></p> <p>○スピーチや英作文等の自己表現活動に苦手意識をもつ生徒が多い。身近な話題から英語で表現する経験を重ね、自信をもって話したり書いたりできるようにする。</p> <p><b>【授業の実態】</b></p> <p>○ペアワーク・グループワークにおおむね意欲的に取り組んでいるが、意欲・理解力に差があり、個に応じた配慮が必要である。</p>	<p><b>【chrome book の活用】</b></p> <p>○英作文の課題を出すことで、ライティングの質を上げる。</p> <p>○自分の音読を録音し、自分の発音について客観的に聞けるようにする。</p> <p>○クラスメイトと英語の読み方について教え合い、正しい発音を理解させる。</p> <p><b>【英会話の指導】</b></p> <p>○ALT と 1 対 1 で話す時間を学期に 2 ～ 3 回程度設ける。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>○e ライブラリーを使用し、主体的に学習に取り組む時間を作る。</p>